

厚生労働省「平成 27 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」保育所入所児童のアレルギー疾患罹患状況と保育所におけるアレルギー対策に関する実態調査結果報告

出典	アレルギー 2018;67(3):202-210 (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2018307845/)
著者	柳田紀之 他
調査地域	全国
調査時期	2016 年 2 月
調査対象	保育関係施設 (0~6 歳)
依頼数	32,210 施設
有効回答数 または回収率	48.8% (15,722 施設)
診断方法	施設職員の申告 (医師の診断不要の施設 13.3%)
有病率	4% (1,390,481 人), (0 歳 6.4%, 1 歳 7.1%, 2 歳 5.1%, 3 歳 3.6%, 4 歳 2.8%, 5 歳 2.3%, 6 歳 0.8%)
調査概要	全国の保育所における食物アレルギーの実態を調査した論文。1 歳以降は年齢が高いほど有病率は低かった。調査期間内の約 11 か月間に誤食は 29.6%の施設で起こり、FA 児の 7.6%が保育所で FA 症状を 1 回以上起こしていた。